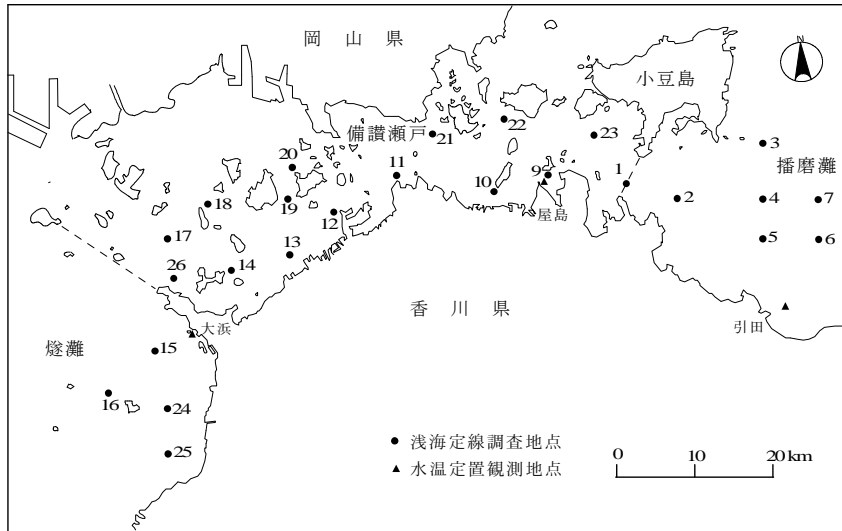


香川県漁海況情報 平成 24 年 7 月 (H24-4 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 24 年 7 月 3 日 (播磨灘), 4 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから平年並み」、塩分は「かなり低めから平年並み」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	22.0	20.3	18.3	30.8	31.4	31.7	9.5	4.75	3.78
	平年値	22.3	20.7	18.7	31.7	31.9	32.2	8.0	5.09	3.91
	平年偏差	-0.3	-0.4	-0.3	-0.9	-0.5	-0.5	1.5	-0.34	-0.13
	標準偏差(σ)	1.3	0.9	1.3	0.7	0.5	0.4	2.8	0.43	0.61
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	21.2	20.8	20.6	31.2	31.4	31.5	5.1	4.98	4.71
	平年値	21.7	21.1	20.8	31.8	32.0	32.1	4.3	4.64	4.40
	平年偏差	-0.5	-0.3	-0.2	-0.6	-0.6	-0.6	0.8	0.34	0.31
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.4	0.9	0.7	0.7	1.4	0.42	0.33
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや高め	やや高め
燧 灘	4地点平均値	23.4	19.9	18.2	29.9	32.4	32.8	6.7	5.69	3.72
	平年値	23.7	21.0	19.3	31.6	32.6	32.9	9.6	5.19	3.82
	平年偏差	-0.3	-1.1	-1.0	-1.6	-0.1	0.0	-2.9	0.50	-0.10
	標準偏差(σ)	1.7	1.5	2.1	1.0	0.5	0.4	3.8	0.47	0.57
	状 況	平年並み	やや低め	平年並み	かなり低め	平年並み	平年並み	やや低め	やや高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 56 年 (1981) 1 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素: 昭和 56 年 (1981) 2 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

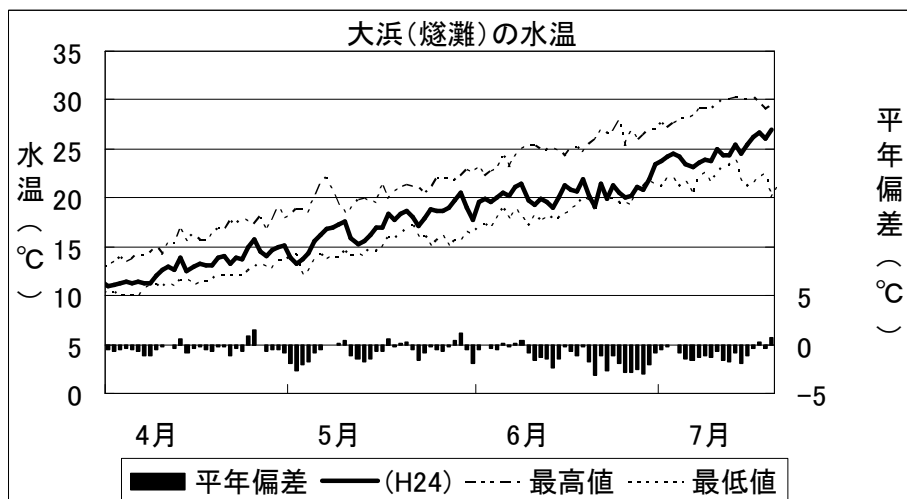
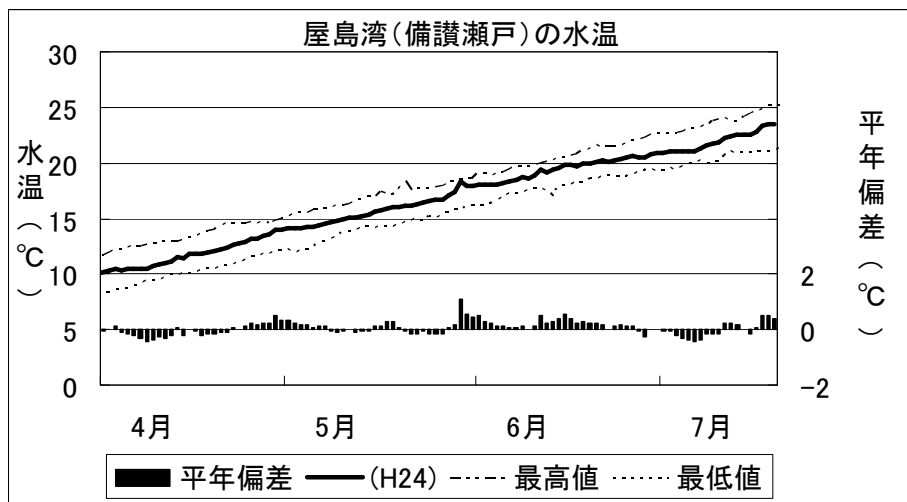
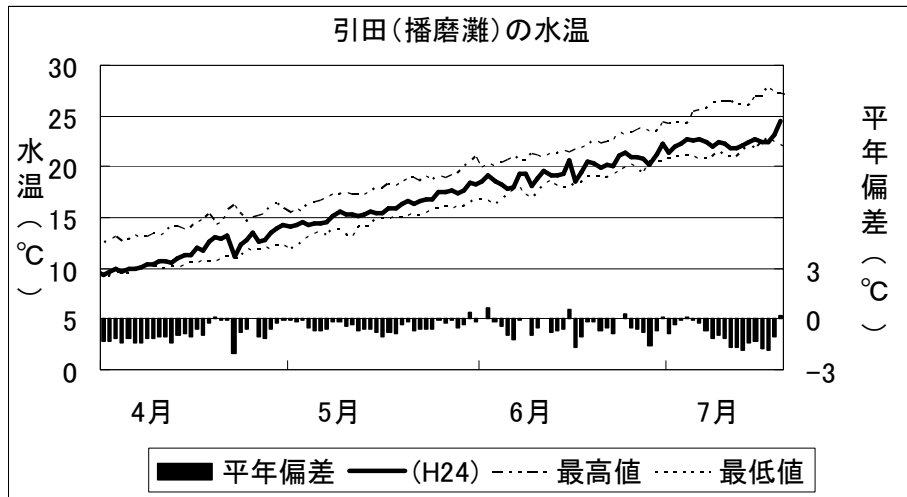
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 4月はかなり低めから平年並み, 5, 6月は平年並みからやや低め, 7月は平年並みからかなり低めで推移している。(6月下旬に1日, 7月中旬に2日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 4月から6月は概ね平年並みからやや高め, 7月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 4月はやや低めからやや高め, 5, 6月はかなり低めから平年並み, 7月は平年並みからやや低めで推移している。(5月上旬に2日, 6月下旬に1日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 23 (2011) 年



4) 赤潮 (6月20日～7月19日)

播磨灘：発生無し。

備讃瀬戸：屋島湾において6月21日に *Mesodinium rubrum* による赤潮が、7月2～3日に *Heterosigma akashiwo* による赤潮が確認された。

燧灘：発生無し。

5) 卵稚仔

調査日：平成24年7月3日(播磨灘)，4日(備讃瀬戸，燧灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

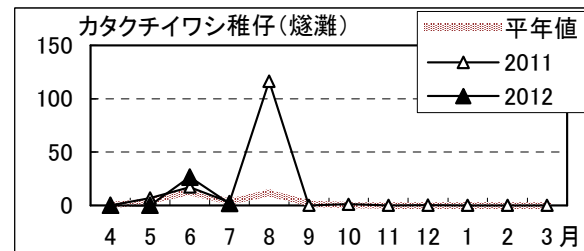
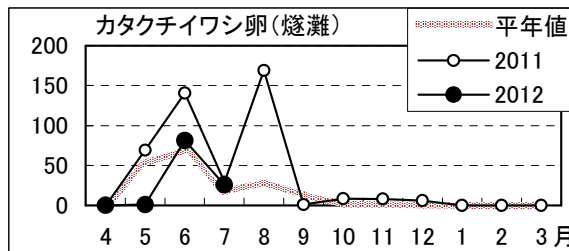
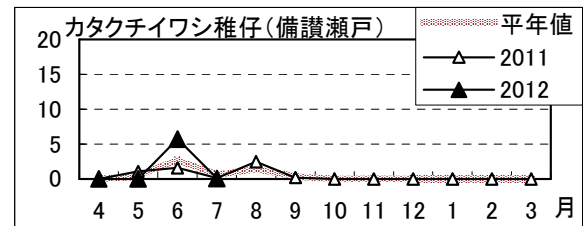
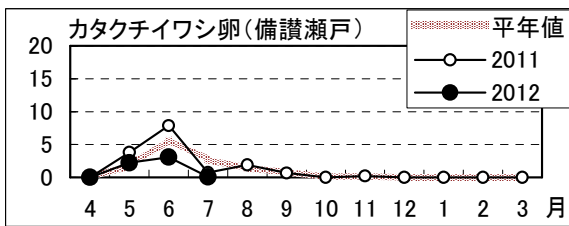
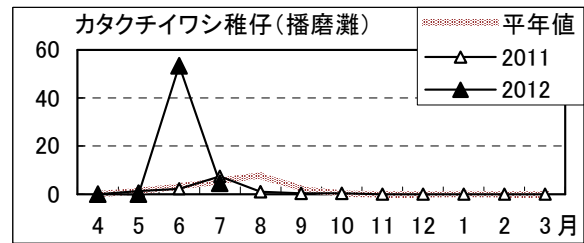
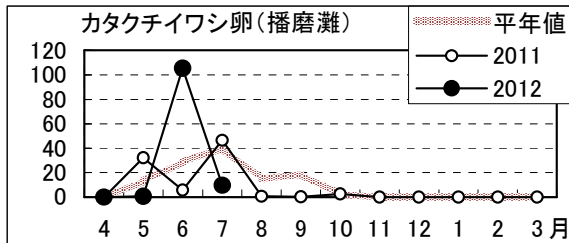
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	9.6	4.6	0.0	0.0	78.9	3.5
	平年値	40.1	5.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	24.0	86.9	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.1	0.1	0.0	0.0	3.1	0.5
	平年値	2.7	0.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	2.5	12.1	-	-		
燧灘	平均値	25.7	1.7	0.0	0.0	4.7	0.6
	平年値	17.2	3.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	149.8	55.1	-	-		
総平均	平均値	8.6	1.7	0.0	0.0	23.7	1.3
	平年値	16.0	2.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	53.7	69.0	-	-		

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、マアナゴ、メイトガレイ、ウシノシタ類、コノシロ、オニオコゼ、キス、コイチ、小エビ類、ガザミ、コウイカ、ペイカ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、スズキ、メバル、カサゴなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、サバ、ボラ、イカ類、アイゴなどが漁獲されている。</p> <p>あじ落網ではサワラ、サゴシ、サバ、カタクチイワシ、マルアジ、ナゴヤフグ、イシモチ、コノシロ、タチウオ、スルメイカなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、ヒラメ、ウシノシタ類、メイトガレイ、オニオコゼ、セトダイ、キュウセン、マアナゴ、小エビ類、マダコ、テナガダコ、コウイカ類、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、メバル、オニオコゼ、シロギス、ガザミ、コウイカ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網ではアイゴ、ボラ、コウイカ類、アオリイカなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではアカカマス、小エビ類、マダコ、ガザミ、クロダイ、メイトガレイ、マルアジ、マゴチ、オニオコゼ、ジンドウイカ、アナゴ、シャコ、テッポウエビ、テンジクダイなどが漁獲されている。小エビ類は昨年より低調である。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、キジハタ、マダイなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマルアジ、アカカマス、イシダイ、スズキ、モンゴウイカ、アオリイカ、マツイカ、ウマヅラハギ、ボラ、タチウオなどが漁獲されている。</p>
香川県全域 (サワラ)	<p>漁は7月上旬でほぼ終了した。主要漁協からの報告によると、播磨灘では2～4キロ（ほぼすべて2歳魚）の尾数が昨年に比べて顕著に増加し、漁獲量は昨年の2～3倍になった。備讃瀬戸と燧灘では、昨年と同程度か減少している。</p>

2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。

